

会 議 録（概要）

会 議 の 名 称	令和３年度 第２回相川郷土博物館展示検討会
開 催 日 時	令和３年１２月２４日（金）１４：００～１６：００
場 所	相川郷土博物館 あいかわ開発総合センター 実習室
議 題	報告事項 (１) 相川郷土博物館耐震改修工事補強計画について 協議事項 (１) 相川郷土博物館展示について (２) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出 席 者	(委員) 有識者 ５名 (オブザーバー) 県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 三ツ井専門調査員 株式会社グリーンシグマ ３名 (事務局) 佐渡博物館 館長 池田 哲夫 教育委員会社会教育課佐渡学センター 濱崎センター長 中田係長 石渕主任 平野学芸員 世界遺産推進課世界遺産保存係 相羽主任文化財調査員
会 議 資 料	資料No.1 相川郷土博物館耐震改修工事補強計画について 資料No.2 相川郷土博物館展示について
傍 聴 人 の 数	０人
備 考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
A 委員	相川郷土博物館（現地）にて展示（案）について説明し、質疑・意見交換を行った。 その後、あいかわ開発総合センターにおいて現地で出た質疑・意見の振り返りを行うとともに展示（案）について協議した。 ＜現地での意見＞ ・資料展示の内容について、見やすいもの、セキュリティを考えてほしい。 ・対象者の設定は大人向けか、子供向けか。 →（石渕） ・解説内容は、子どもでも理解できるもので検討したい。 ・意匠等については、幼稚なものとならないよう博物館のイメージにあった落ち着いたもので検討したい。 ・ハンズオンの仕様については、楽しめるものにしてほしい。 ・鉱山経営に関するテーマを取り扱ってほしい。 ・審議室の古写真はVIP対応のときの仕様ではないか？再現するなら平常時の姿がよいのではないか。 ＜あいかわ開発総合センターでの追加意見＞ （展示内容等について） □展示内容に関する意見 ・近代化遺産のインフォメーションセンターという認識で良いか。 →（濱崎センター長） ・博物館機能を有したガイダンス施設という位置づけである。 →（A 委員） ・博物館的な機能なら、しっかり実物を使った展示をしてほしい。 ・博物館的な機能なら、しっかり実物を使った展示をしてほしい。 ・外国語対応はどう考えているか？ →（B） ・パネルは日英表記 ・中国語（繁体、簡体）、韓国語は多言語化コードで示す。
	C 委員 ・文字サイズなどは視距離をふまえて計画してほしい。 ・写真の大きさなどは統一していただきたい。 ・解体調査で出てきた当時の壁面を展示に活かしてほしい。 ・利用者が好きなものを選べるような自由度のある展示のほうがよ

D 委員	いのではないか。 ・見せっぱなしではなく、利用者の意見をフィードバックができる施設にしてほしい。 ・写真と解説が多くなると押し付けになりかねない。利用者の考える余白を設けてほしい。動線も自由動線がよい。 ・利用者が好きなものを選べるような自由度のある展示のほうがよいのではないか。 ・資料の内容について具体的なものが欲しい。 ・映像などを使うのはよいが、懐かしさなどを感じられる展示にしてほしい。 ・博物館であることから展示替えできるものにしてほしい。 ・様々な人の関わり、人についてしっかり説明してほしい。 ・棲み分けからはみ出したものがある。街をつくってきた歴史、暮らしや人の営みの視点を入れてほしい。 ・有形資料が足りないのではないか。住民からも史料寄贈の話はあるが、鉱山労働者の生活に関する資料をこの機会に収集してみてもどうか？ →（池田館長） ・今後の展示替えも含め、ご指摘の史料提供について住民からご協力をいただきたいと考えている。
D 委員	□博物館運営に関する意見 ・現状、受付職員しかおらず、ガイドや学芸員が配置されていないことから専任のスタッフを配置してほしい。
A 委員	・なんでもないような場所でも、説明があれば来訪者は感動してくれる。
池田館長	・どんないい施設ができてても動かす人がよくないとうまくいかない。うまくいっている施設はスタッフがよい。専任のスタッフの配置が必要である。
A 委員	□ユニークベニューなどの利用に関する意見 ・フレキシブルな余地は残してよいのではないか。
E 委員	・カフェなどにはなじまないと思うが、講座などができる場所があったほうがよい。
C 委員	・鉱山事務所は展示に特化したスペースのほうがよいのではないか。常に展示できないのはもったいない。 ・博物館は博物館らしくしたほうがよいのではないか。周りにもこれからカフェなどができてくる。常に同じ機能であるほうが、利用者は来やすいと思う。

F 委員	・展示スペースを利用せず、トイレに改修する部分の一部を集会などに利用できる空間としてはどうか。 (その他) □既存展示資料の内、改修後に使用しない資料の取り扱いに関する意見
C 委員	・貴重なもの、出せないものもあるかと思うが、街全体で博物館として見せられるイベントも考えていただきたい。 ・相川車座で古民家再生を行っている。セコムなどの警備会社を入れる予定である。警備上の問題として、分散展示する際にセキュリティが必要な資料については古民家再生の空間も活用可能である。 → (濱崎センター長) ・展示場所の設定などについては今後の課題だが、今のお話も踏まえ、検討したい。
F 委員	□防火・火災設備について ・改修に合わせて防火や防災はどうするのか？ → (G) ・消防法上必要な設備（火災報知器、パッケージ消火栓等）を設置する。 ・避難経路は、御料局の窓を開くようにして対応可能とする。
E 委員	・鉾山事務所が火元となった場合も考え、御料局からそのまま外に出られる避難口が必要ではないか？ → (G) ・現状の鉾山事務所と御料局を繋ぐ渡り廊下にある非常口は改修後も残ることから、そこから外に出られる。
C 委員	□その他 ・ガイドの需要が高まっている。まち歩きする際に説明してもらえ人がいてほしい。 → (相羽) ・朱鷺ガイド、ジオガイド、世界遺産ガイドなど別々でガイド育成をしている。 ・各ガイドが他の資源も案内できるよう育成、連携を図りたい。